

第 1 0 回 統語論② 10-1

1

言語研究法（'19） 第10回 統語論②

文をつくる文法

（<第15講> & <第16講>）

2

今回のポイント

➤ 統語論の道

文を観察・記述する文法から文をつくる文法へ

➤ 句構造文法

➤ 変形・生成文法（→ 単に生成文法）

変形、移動といった考え方の説明力

➤ 普遍文法？

3

復習：単純化した自動車の構造

エンジン

（動力発生装置）

ボディ

伝動装置

走行装置

4

復習：直接観察法による自動車の構造図

自動車

ボディ

ハンドル

タイヤ

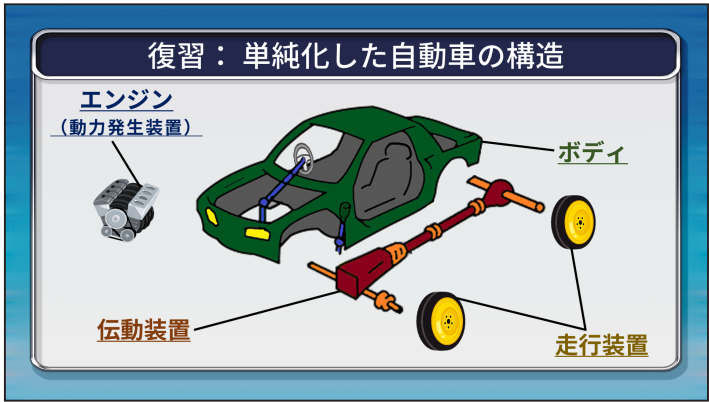
ギヤ・シャフト等

エンジン

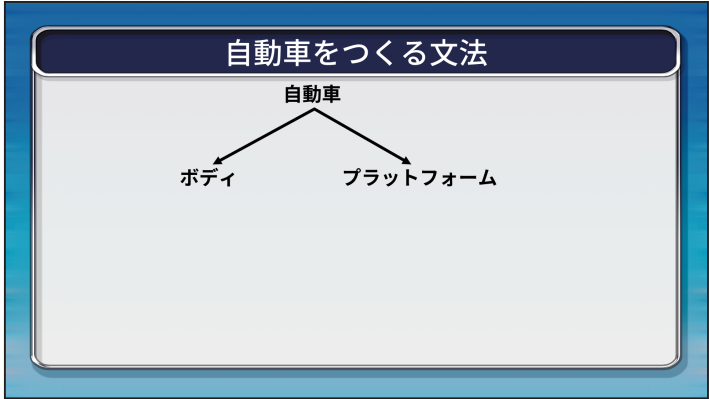
© The Open University of Japan, All rights reserved.

第 1 0 回 統語論② 10-1

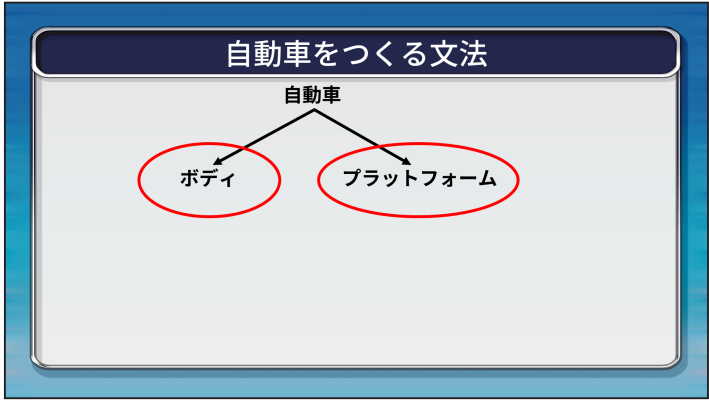
5



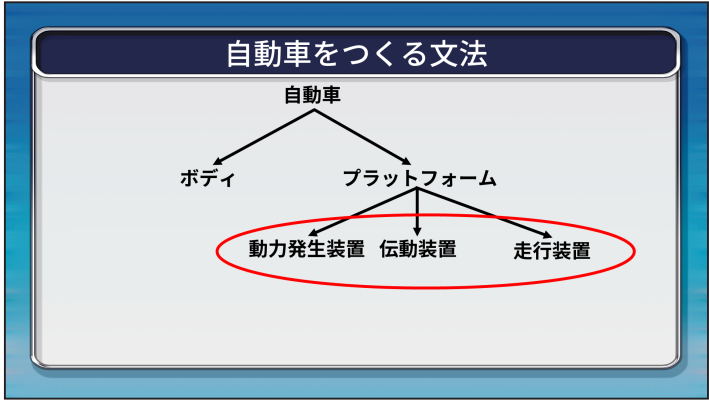
6



7



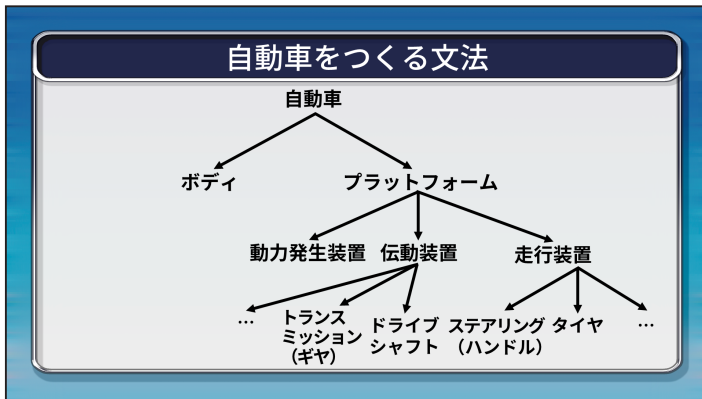
8



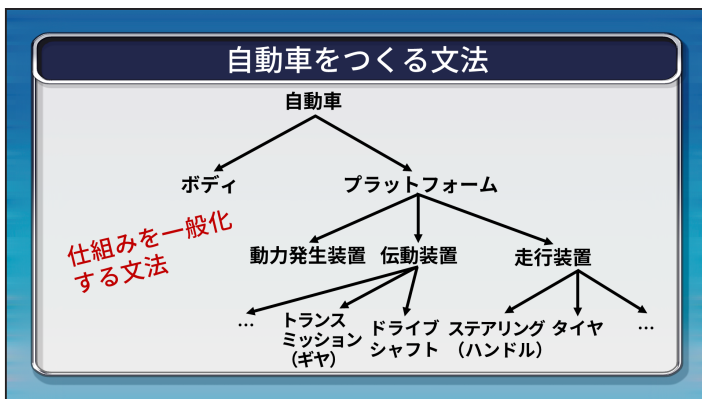
言語研究法 ('19)

第10回 統語論② 10-1

9



10



11

では言語の文法は？

文の形と機能を観察し、直接の構成要素を樹形図（ツリー）として書き表す
「直接構成要素分析」

VS

文の成り立ちを考察し、文をつくる規則を書き出す
「句構造文法」

12

では言語の文法は？

文の形と機能を観察し、直接の構成要素を樹形図（ツリー）として書き表す
「直接構成要素分析」

VS

文の成り立ちを考察し、文をつくる規則を書き出す
「句構造文法」

ノーム・チョムスキーが考案！

13

チヨムスキーが考えたこと

- ・句や文が要素の組み合わせなら、大きな単位は小さな単位に分解できるはず
- ・かつ、どの言語でも、正しい文と正しくない文があるから、さまざまな単位がどのように分解できるかについて、言語ごとにルールがあるはず
 - 「句構造規則」
- ・そのルールの集まりのことを「文法」と呼んでいるのではないか？

5

-10

–15

-20

—25

—30—

—35

[illegible]

日本語の句構造規則（の一部）

【句構造規則の候補】

- ① 文 → 後置詞句＋後置詞句＋動詞句
- ② 後置詞句 → 後置詞句＋後置詞
- ③ 後置詞句 → 名詞句＋後置詞
- ④ 後置詞句 → 文＋後置詞
- ⑤ 名詞句 → 形容詞句＋名詞
- ⑥ 名詞句 → 文＋名詞
- ⑦ 動詞句 → 動詞語幹＋アスペクト辞＋時制辞

日本語の句構造規則（の一部）

【句構造規則の候補】

- ① 文 → (後置詞句 (+ 後置詞句 (+ …))) + 動詞句
- ② 後置詞句 → 後置詞句 + 後置詞
- ③ 後置詞句 → 名詞句 + 後置詞
- ④ 後置詞句 → 文 + 後置詞
- ⑤ 名詞句 → 形容詞句 + 名詞
- ⑥ 名詞句 → 文 + 名詞
- ⑦ 動詞句 → 動詞語幹 + アスペクト辞 + 時制辞

日本語の句構造規則（の一部）

【句構造規則の候補】

- ① 文 → (後置詞句 (+ 後置詞句 (+ …))) + 動詞句
- ② 後置詞句 → 後置詞句 + 後置詞 (*) (*) = は、も、の
- ③ 後置詞句 → 名詞句 + 後置詞
- ④ 後置詞句 → 文 + 後置詞
- ⑤ 名詞句 → 形容詞句 + 名詞
- ⑥ 名詞句 → 文 + 名詞
- ⑦ 動詞句 → 動詞語幹 + アスペクト辞 + 時制辞

第10回 統語論② 10-3

21

句構造文法の限界

■句構造文法の弱点

・明らかに関係のある2つの文の関係を示すことができない

<例> 英語の能動文と受動文

Tom chases Jerry.

Jerry is chased by Tom.

・多義文の構造の違いを示せるとは限らない

<例> 「太郎が好きな花子」

“Taro loves Hanako?” or “Hanako loves Taro?”

22

ブレイクスルー：変形

「太郎が好きな花子」をどう説明する？

① “Taro loves Hanako” のとき

深層構造を仮定： [[太郎が花子を好きだ]文 花子_{主要部}]名詞句

同一指示名詞の削除： [[太郎が ϕ 好きだ]文 花子_{主要部}]名詞句

連体修飾化： [[太郎が ϕ 好き_な]文 花子_{主要部}]名詞句

↓

表層構造： 太郎が好きな花子

23

「太郎が好きな花子」

② “Hanako loves Taro” のとき

深層構造を仮定： [花子が太郎を好きだ]文 花子_{主要部}]名詞句

同一指示名詞の削除： [[ϕ 太郎を好きだ]文 花子_{主要部}]名詞句

際立ちの「が」化： [[ϕ 太郎が好きだ]文 花子_{主要部}]名詞句

連体修飾化： [[ϕ 太郎が好き_な]文 花子_{主要部}]名詞句

↓

表層構造： 太郎が好きな花子

24

変形文法（チョムスキー）のコンセプト

深層構造： 文の意味を規定する抽象的な構造

(句構造規則を適用して得られた骨格に具体的な語を挿入)

↓

変形規則を適用

(英語について提案された変形規則： 受動変形、Wh移動変形、主語-助動詞倒置変形、Do挿入変形、与格移動変形、主語繰り上げ変形、再帰代名詞化変形、etc. etc.)

↓

表層構造： 現実に発話される文が持っている構造

英語が大好きな「移動」①

(これどう思う?)

深層構造： You think **what** of this

Wh移動變形：What you think ϕ of this

Do插入變形： What you **do** think ϕ of this

主語一助動詞倒置變形：What **do you** think of this

表層構造：What do you think of this?

英語が大好きな「移動」②

→ They seem to love each other.

It is certain [that Hanako will come here]. (花子は必ずここへ来る)

→ Hanako is certain to come here.

- It is easy [to answer this question]. (この問題に答えるのは簡単だ。)

→ **This question is easy to answer** ϕ . (誤り... to be answered)

変形文法から生成文法へ

- 変形規則だらけ！（さっきの疑問詞疑問文の変形過程！）

一意味は深層構造で決まる？（変形は意味を変えるのでは？）

- できることへの普遍的説明を求める理論へと傾斜を強める

二「原理とパラメーター」による普遍的枠組の探求

—その後はさらに抽象度を高め文法を簡素化する理論へ

普遍文法？

- ・生得的な言語能力が存在するのか？との批判

- ・文法も一種の思想である、との側面

↑

- 全般的な認知能力やコミュニケーション能力の反映としての言語運用能力、という見方

- 実際の使用を通して形作られてゆく言語（用法基盤モデル）との考え方